

2023年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月15日作成)

小委員会名	VDC・BIM 小委員会	主査名：石田 航星 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (建築生産運営委員会)	委員長名：野口 貴文 主査名：石田 航星
設置期間	2020年4月 ～ 2024年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>日本の建築産業においても BIM の導入が進むとともに、BIM の利活用の方法についても様々な提言がなされるようになってきている。本小委員会では、施工分野における BIM の導入状況の調査とともに、BIM と連携することで効果を発揮する 3 次元計測技術や AI などの新技術に関する調査・研究を実施する。また、BIM を導入したプロジェクトにおいて生産性を向上させるために必要な取組について議論を行う。</p> <p>初年度：施工段階における BIM 活用の事例調査 2年度：シンポジウム開催 3年度：施工段階における BIM 活用の事例調査 4年度：シンポジウム開催</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：石田航星 (早稲田大学) 幹事：田中智己 (ポラス) 委員：石岡宏晃 (清水建設)、金子智弥 (大林組)、志手一哉 (芝浦工業大学)、鈴木祐美子 (戸田建設)、曾根巨充 (前田建設工業)、染谷俊介 (竹中工務店)、高橋暁 (国土技術政策総合研究所)、原英文 (長谷工コーポレーション)、松崎真豊 (三井住友建設)、三戸景資 (清水建設)、元地敏哉 (熊谷組)</p>	
設置WG (WG名：目的)	<p>施工 BIMWG：実際の BIM モデルの活用事例を調査して、研究課題や解決方法を調査する。(年 8 回、VDC・BIM 小委員会と同時開催)</p> <p>3次元計測技術 WG：BIM データと連携を図ることで大きな効果を発揮できる 3次元計測技術に関する調査・研究を実施する。特に 3次元レーザースキャナとこれにより取得される点群データの分析と活用方法に関する事例収集や精度管理手法に関する調査を実施する。(年 8 回)</p>	
2023年度予算	10,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	

対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	現場施工者に対してアンケートを実施した。
委員会活動の問題点 ・課題	BIM の終わらせ方に関する議論を開始した。